

松江国道事務所頓原維持出張所では国道54号（管理延長6.1km）の冬期の安全・安心な交通確保を目指して、毎年除雪作業を行っております。

特に、中国山地の豪雪地帯である雲南地域においては、除雪作業は地域の経済・社会活動並びに道路利用者、地域住民等の日常生活を支えるため必要不可欠なものです。

冬場、何気なく見ている除雪作業も、単に「雪をかく」といった単純なものではなく、地形、路面状況、気象状況、気象予測など、また、降積雪状況により様々な除雪機械を使い分けて作業を行うなど、種々の条件を総合的に勘案し、24時間体制で実施しています。

このような除雪作業の特性を理解していただくことは、安全・迅速・効率的な除雪作業を行う上で重要であると考えております。このたび、除雪機械の点検・試運転状況を公開し、除雪作業に対するご理解とご協力を得る事を目的に実施するものです。

昨年度の除雪状況

■凍結防止剤散布

路面が濡れて凍結の恐れがある場合（気温が0℃以下になると予測された場合）に、薬剤を散布して凍結を防止します。

通勤通学時間帯までの夜間から早朝にかけて多く作業しています。

昨年度は3台で延べ243回出動しました。



凍結防止剤散布車



除雪トラック

■除雪作業

車道部の積雪が10cmを超えるか、圧雪が5cm以上を目安に除雪を行います。

降雪予報が出ればいつでも出動できるよう24時体制で待機しています。

昨年度は3台で延べ72回出動しました。

■昨年度の状況

昨年度は、地元小学生約50名が除雪機械とふれ合い“除雪の大変さがわかりました”などの声をたくさん頂きました。

この取り組みは平成11年度から始まり、今年で10回目となります。

